



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

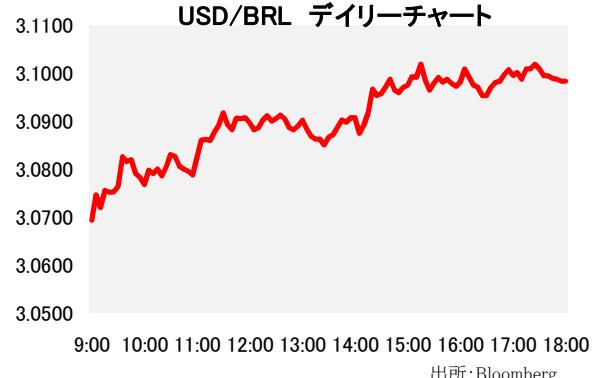
1. マーケット・レート

			6月18日	6月19日	6月22日	6月23日	6月24日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0600	3.0970	3.0800	3.0750	3.0980	+0.0230
	BRL/JPY	Spot	40.17	39.60	40.03	40.29	39.98	-0.31
	EUR/USD	Spot	1.1366	1.1352	1.1337	1.1162	1.1207	+0.0045
	USD/JPY	Spot	122.96	122.71	123.38	123.94	123.87	-0.07
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.214	14.219	14.167	14.123	14.229	+0.106
	Future	1Year(p.a.)	14.244	14.317	14.229	14.162	14.276	+0.114
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.445	1.463	1.452	1.453	1.535	+0.082
USD	USD	1Year(p.a.)	1.877	1.854	1.842	1.894	1.937	+0.043
株式	Bovespa指数		54,239	53,749	53,864	53,772	53,843	70
CDS	CDS Brazil 5y		235.80	240.83	249.00	248.85	255.83	+6.97
商品	CRB指数		224.120	222.127	223.232	224.357	224.042	-0.32

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

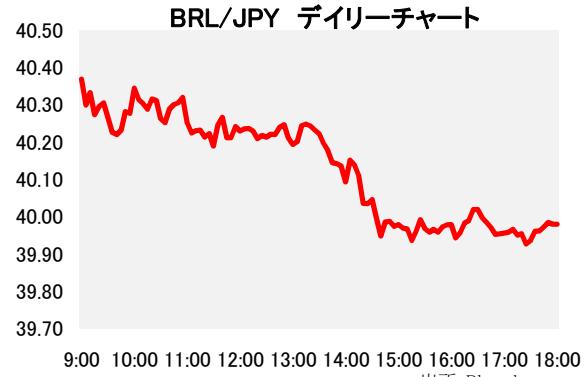
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
(米)MBA住宅ローン申請件数	--	1.6%	-5.5%
(米)GDP(年率/前期比)	-0.2%	-0.2%	-0.7%
(米)個人消費	1.9%	2.1%	1.8%
(米)GDP価格指数	-0.1%	0.0%	-0.1%



3. 要人コメント

モンテーロ伯貿易相	ブラジルレアルの下落は輸出振興の機会だが、まだ十分ではない。
-----------	--------------------------------



4. トピックス

- 本日の為替相場は3.0870で寄り付いた。オープン直後はレアル買いが優勢で直後に本日の高値となる3.0650を示現した。その後は早朝に発表されたブラジル中銀の4半期毎のレポートで経済見通しが更に弱まったことを受けて、レアルは売り一色。更に、発表された米第1四半期GDP確報値で、個人消費が上方修正されたことを受けてドル買いが強まるなど、レアルは3.09を割り込んだ。一時3.08台半ばまで反発する場面もあったが、引けにかけて安値となる3.1020を示現し、結局3.0980でクローズした。
- 早朝に発表されたブラジル中銀のインフレーションレポートでは2015年のインフレ見通しが9.0%となり、前回3月のレポートの7.9%から大きく引き上げられた。一方、2016年は4.9%から4.8%へ、2017年は4.7%から4.5%への引き下げとなった。2015年の経済成長率は-0.5%から-1.1%へと引き下げられた。
- 市場の反応は薄かったが、ギリシャのチプラス首相は債権団がギリシャの提案を受け入れていないと発言した。ユーロ圏財務相会合では支援の前提となるギリシャの財政再建策が固まらず、結論は翌日に持ち越された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。